

# 通訳案内士試験 2次口述試験の新しい傾向について

NPO 日本文化体験交流塾

## 1 2016年の出題テーマについて (36題出題)

盆栽	御朱印	ラムサール条約
下駄	おぼんざい料理	日本の免税制度
ひな祭り	日本の世界遺産	江戸城
国立西洋美術館	茶室の役割	厄年
川柳	日本の城の種類	人力車
合気道	神社	日本の家庭
江戸時代の身分制度	お盆	鏡開き
天皇制度	高野山	日本の国立公園
振袖	和紙	グリーンツーリズム
初詣	七夕	文化の日
納豆	七五三	お伊勢参り
提灯	漆器	駅の自動改札

## 2 2016年の口述試験の出題傾向の分析

### (1) プレゼン問題の3題中1題は基本的な問題でした

昨年の口述試験のプレゼン問題は出題数も多く、固有名詞のオンパレードでもありました。しかし、今年の問題は全般的にガイドとして必要である知識を問うものになっていましたし、3枚のうちの1枚は必ず基本的な問題が入っていました。

### (2) 今年は、各時間グループに通訳問題もプレゼン問題も2パターンずつの出題でした

昨年(2015年)の試験では、通訳問題26題、プレゼン問題78題が出題されました。

### (3) 通訳問題の長さにはバラつきが見られました

通訳問題は短いもので90文字程度、一番長いもので150文字程度と問題の長さにバラつきがありました。

また今年の試験では、試験官より「通訳は1分で終わりですが、1分30秒までは大丈夫です。1分15秒経った所で合図をします」という指示がありました。この指示も今年初めてでした。しかし、受講生からのアンケートによると、その通訳時間の指示もあった組と無かった組があったようです。また、通訳問題を読む速さも試験官によってまちまちだったようでした。

国家試験という性格を考えた際、そのように試験官によって試験のやり方に差がでるのは問題ではないでしょうか。

### (4) 2次試験の合格発表が前倒しになりました

従来は2月の初旬(つまり試験後約2か月!)に合格発表がありました。今年から1月17日にインターネットで合否が発表されることになりました! 官報への掲載と合格証の発送は従来通りの日程(2月3日)で行われるようです。

【参考】2015年の出題テーマ（78題出題）

風林火山	路面電車	人気のスポーツ
城	中山道	銭湯
お受験	お茶漬け	おでん
精進料理	バレンタインデー	忍者
血液型	田んぼアート	卑弥呼
のれん	家元制度	漆について
鍋料理	殺陣	高山祭
立山黒部アルペンルート	金閣寺の建築様式と時代背景	出羽三山
日本のアイドル	地藏	仏像の種類と特徴
日本の野生動物	なまはげ	日本人のくせ
出雲大社	打ち水	棚田
日本の城の種類と特徴	火祭り	カプセルホテル
日本の蒸気機関車	日本のハロウィーン	風鈴
小京都	軍師	札幌雪祭り
1万円に画かれた人物	日本の湖	聖徳太子
西国三十三か所	大奥	流行語大賞
金沢の名産品	坂本竜馬	冬至
街コン	地下足袋	千円札に描かれた人物
神楽	日本のアイドル	お彼岸
デパ地下	横綱	付き出し
東海道五十三次	徳川家康	懐石料理
日本のミュージカル	書院造	日本の伝統芸能
渋谷スクランブル交差点	新選組	源氏物語
鬼	ゴールデンルート	招き猫
日本の数字の数え方	一年を表す漢字	ししおどし
けん玉	道の駅	優先席